医療機器分野を強化

売り上げの7割へ

部材供給に絞る

大阪コートロープ（☎0725・51・1501）は、得意の極細ステンレスロープを活かして、医療機器分野を強化する。部材供給に徹し、売上高に占める医療機器の比率を7割まで一気に高めたい計画だ。

大阪コートロープ

得意の極細ステンレスロープ

大阪府和泉市テクノステージに本社工場を置き、ワイヤーロープの中でも極細ワイヤーを伸線、撚線、コーティングと一貫して生産する。9ミクロンのワイヤー7本撚りした業界最小のステンレスロープの技術は業界でも注目されている。

現在、産業機械、建設関連、釣り具用などが売り上げの大半を占めており、医療用関連のウエートは5%程度。「今後市場として期待出来るのは医療関連。一段と強化したい」と、昨年3月から社長に就任した筒井克哉さん。

世界的にもカテーテルガイドワイヤー、内視鏡のコントロールワイヤーなど極細ワイヤーを活用した医療機器が急増。完成品を狙わずに、医療機器メーカーへの部材供給に絞り込む。

今年2月には米国で、4月には東京の展示会で医療用具としての極細ワイヤーを積極的にアピール。早くも、「50社から引き合いや問い合わせを受けています」と自信を持つ。

7月にもトルク精度をさらに上げるため、試作機の導入を計画。技術者の多能工化など、医療向けの技術開発体制を充実する。医療分野を強化し、6－7年後をめどに年商を5億円強から10億円に倍増させたい考えだ。

一丸！配管工事

若手と年配社員

難易度高い改修工事が得意

ヨシ ウェルドカンパニー（略称YWC、☎06・4960・7388）は、若手と年配社員が一丸となって配管工事に取り組む。難易度の高い改修工事を得意とし、元気経営を進めている。

尼崎市次屋3丁目に本社工場を持ち、工場の配管、ビルの配管、空調配管など新規から改修工事まで総合的に行う。「創業以来52年、経験と実績を活かした改修工事には自信があります」と、2代目の義高弘社長。

その工事を支えているのが、12人の社員と30－40人にのぼる外部の協力スタッフ。現場に配管を持ち込み、溶接して据え付ける仕事は、1人前になるまで数年かかると言われ、技術と経験が求められる。

ヨシ ウェルドカンパニー

社員は19歳から会長の77歳まで幅広い。「うちではベテランから若手への技術承継がうまく行っています」と義社長。現場仕事を終えて本社工場に戻って来た若手社員は、工場内で溶接の練習。すると、自然発生的な雰囲気で熟練の職人さんがアドバイスし、指導に当たる。

毎月本社の3階では宅配ピザを注文したピザパーティーやベテランと若手の飲み会。さらに、社長と若手はLINEなどでつながり、仕事やプライベートでもコミュニケーションを深める。

「会社が嫌で辞める人はいません」と、離職率も低い。現在、将来を担う若手社員を募集している。

福を呼ぶ！新みやげ

せのや（☎06・6636・7280）は、大阪みやげの専門店「なにわ名物いちびり庵」を展開しているが、新たに福を呼ぶ「なにわちょろけん」を発売した。

「ちょろけん」は、江戸時代の後期に京都や上方で流行した大道芸。「ちょろを見る人福来たる」と民家の戸口に立ち、福を呼び込むとされた「門付芸」。

独特の仮装で街中を練り歩き、ご祝儀などをもらっていたとされるが、今では忘れ去られた存在となっていた。そのちょろけんを

おもろいなあ

レアチーズクラッカー

「なにわちょろけん」を発売

せのや

おみやげ用に復活、なにわちょろけんレアチーズクラッカーを発売した。

ちょろけんをデザインしたカワイイ容器に入っており、福がやってきたインパクトはバツグン。中身は、創業100年の練ようかん専門店の梅花堂本店のレアチーズと、関西では有名な前田製菓の「あたり前田のクラッカー」が入っている。

クラッカーにレアチーズを付けて食べてもらうと、爽やかな酸味とクラッカーのサクサク感が味わえる。価格は1080円。プレゼントにも喜ばれそう。

盛大！盛り上がる

ホテルニューオータニ大阪で

一般社団法人日本塗装工業会は、5月25と26日の両日、大阪市中央区のホテルニューオータニ大阪で全国大会を開催。全国から824人が参加、大阪の魅力を味わう多彩なおもてなしで盛り上がった。

定時総会に引き続いて、『夢と笑いと食い道楽 おこしやす大阪へ』をキャッチフレーズに全国大会を開催。神戸弘陵学園高校のマーチングバンドの演奏で、会場は一気に熱気に包まれた。

「業界の将来を担う若い人が結集。大阪地元の熱意で新たな1ページになれば」と竹延信実行委員長が力強く開宴の言葉。「盛大な会を開いてもらった大阪に感謝したい」と、乃一稔同工業会会長がお礼のあいさつをした。

来賓祝辞の後、北浦年一大阪府建団連会長の乾杯で宴会に移り、アトラクション、大会旗引継ぎが行われた。来年は愛知県で開催される。

日本塗装工業会が全国大会

観光振興連携協力に関する協定締結

池田泉州銀行（藤田博久頭取）と大阪観光局（溝畑宏理事長）は、観光振興連携協力に関する協定を締結。クラウドファンディングの活用や、マーケティング、人材育成などサポート体制を整備し、幅広く連携、それぞれが協力することで、大阪を盛り上げていく計画だ。

池田泉州銀行と大阪観光局

心ときめく、空間づくり

明るい職場「AKS0041」認証

日本一明るい経済新聞とNPO法人・明るいシステム倶楽部は、明るい職場の認定制度「AKS0041」の38番目の会社として、伊勢谷テック（☎072・761・1121）を認証した。

「AKS0041」は、本紙とNPO法人・明るいシステム倶楽部（理事長・芦田雅弘氏）が協力し、会社を明るくする仕組みづくりを構築・実践する運動。

伊勢屋テック

明るい職場をつくる！明るいセミナーは5月18日に開催。今回、認証を取得したのは池田市石橋4丁目にあるリフォーム、建築工事の伊勢谷テック。

大正10年の創業で、社名の伊勢屋は阪急の創始者小林一三氏が名づけ親とも言われる歴史のある会社。松室社長は濱脇専務と一緒になって社員を明るくし、取引先や地元の人に喜んでもらう仕組みを次々と考える。

濱脇専務が社内に設けた居酒屋「濱ぴょん」はユニーク。夕方から開店。濱脇専務が腕を振るい、敷地内の農園野菜などこだわり料理が登場。社員のコミュニケーションが深まっている。夏休みには地元の住民を対象に親子木工教室、取引先を招待した花見祭りなどもある。

竹原編集長との対談では、松室社長と濱脇専務の3人でユニークなイベントが紹介された。恒例の参加者全員による大ジャンケン大会で、お菓子プレゼント。参加者同士の交流を深めた。

これがほんまもんの経営者 ―15の習慣、これで会社は強くなる― を出版

日本政策金融公庫を退職し、経営コンサルタント・税理士として活躍する大野健司さんが、元気な経営者の共通点をまとめた「これがほんまもんの経営者―15の習慣、これで会社は強くなる―」を発刊、その出版記念パーティーが大阪市内のホテルで開かれた。

大野さんは、日本政策金融公庫で36年間にわたって、1万社以上の中小企業をウオッチ。「立派な業績をあげている経営者には共通するものがある」と、これまでメモにしたものをまとめて上梓した。

定価は1800円税別（たる出版）。

元日本政策金融公庫 大野さん

元気パワーナ

兵庫県立淡路島公園アニメパーク『ニジゲンノモリ』7月15日オープン！

パソナグループの株式会社ニジゲンノモリは、7月15日（土）にオープンする兵庫県立淡路島公園アニメパーク『ニジゲンノモリ』のチケットの販売を開始した。

パソナグループは2008年から兵庫県淡路島で自治体や地元関係者と連携し、様々な人材が集う“人材誘致”による独自の地域活性事業に取り組んでいる。2013年には兵庫県が公募した「県立淡路島公園における民間事業の企画提案」に「淡路マンガ・アニメアイランド事業」が採用され、県立公園の雄大な自然を活かした新たな観光客の誘致による地域活性化事業を兵庫県と共に進めており、7月15日に『ニジゲンノモリ』がオープンする。

同施設は兵庫県立淡路島公園内の「森のゾーン」や「交流ゾーン」を活用し、マンガ、アニメ等の2次元コンテンツを、自然の中でメディアアートと融合させた体験型エンターテイメント施設として運営していく予定だ。

発売されるチケットは、『ニジゲンノモリ』で楽しめるアトラクション「ナイトウォーク火の鳥（料金／大人3,300円、子供1,200円）」や、「チャレンジ！アクション仮面飛行隊！料金／1,800円」など。いずれも人数制限があり、日時を指定予約する。ニジゲンノモリ公式HPや、各種プレイガイド等で購入できる。パーク全体の内容は今後も随時追加予定で、アニメ関連の催しやグッズ販売等も計画している。

チケット販売開始！

公式HP：http://nijigennomori.com/
問合せ先：株式会社ニジゲンノモリ
Tel 0799-72-3161

◆4月の百貨店売り上げ、14カ月ぶりの増加…日本百貨店協会が発表した4月の既存店売上高は前年同月比0・7%増の4527億円となり昨年2月以来14カ月ぶりにプラスに転じた。春物衣料が好調で訪日外国人客も増加した。

◆関空アクセス20分短縮…大阪府、大阪市、JR西日本、南海電鉄、阪急電鉄は、「うめきた」と難波付近まで結ぶ鉄道新線「なにわ筋線」の事業計画概要を発表。平成43年春の完成をめざす。実現すると大阪中心部から現状の1時間から約20分短縮される見通し。